

「いわて復興人」動画とポスターについて

震災の記憶の風化が進む中で、これからが復興の本番であることの理解と関心をもってもらうために、復興に「ひたむき」に取り組む人を取り上げた**動画 4 種類**を制作し、9月11日（木）から4週にわたって、**県ホームページ特設サイト及びYouTube で順次公開**します。

また、動画と同様の出演者による**4 種類のポスター**を制作し、**9月12日（金）から都営地下鉄で2週間中吊広告を展開**します。

1 ねらい

震災の記憶の風化が進む中で、これからが復興の本番であることの理解と関心をもってもらうために、「**震災からの復興**」の取り組みを全国に向けて発信。

2 動画

次の**4 種類の動画**を制作し、**9月11日（木）から毎週1本ずつ公開開始**。

① **八木澤商店 河野和義さん（陸前高田市）**（9月11日（木）公開）

震災津波で大きな被害を受けた陸前高田市の街の再生に向けて頑張っている取り組みを紹介。

「いわて☆はまらいん特使」の村上弘明氏がナビゲータとして出演

② **岩手県立種市高校 山本拓実さん（洋野町）**（9月18日（木）公開）

宮古市田老で震災を経験し、自分も震災復興の役に立ちたいと親元を離れ、種市高校海洋開発科に入学し、南部潜りの技術を修得するために頑張っている取り組みを紹介。

③ **鶺鴒神楽 笹山英幸さん（普代村）**（9月25日（木）公開）

震災を境に途絶えてしまった鶺鴒神楽を復活させたいと、地元の釜石を離れ普代村に移住。神楽を通じて震災復興に向けて頑張っている取組を紹介。

④ **よってったんせえ食堂のみなさん（大槌町）**（10月2日（木）公開）

大槌町吉里吉里で、震災直後から人の集う場所をつくりたいとの思いで始めた仮設食堂「よってったんせえ」をオープンし、地元笑顔を取り戻すため頑張っている取り組みを紹介。

3 ポスター

動画と同様の出演者による**4 種類のポスター**を制作。

4 展開方法

(1) 動画 【4種類】

県ホームページ内にある特設サイト「**いわてと、あなたがつながるページ**」(<http://www.iwatekara.jp/>) 及び県の YouTube サイト「**岩手県公式チャンネル**」(<https://www.youtube.com/user/prefiwate>) に掲載するほか、県外事務所アンテナショップ、復興支援をいただいた自治体、全国各地で開催される復興応援イベント等で発信予定。

(2) ポスター 【B3判 4種類】

9月12日から都営地下鉄の全線全車両に2週間掲出（東京都の被災地支援の一環として実施）するほか、県外事務所アンテナショップ、復興支援をいただいた自治体、全国各地で開催される復興応援イベント等で掲出予定。

【問い合わせ】 小野寺・吉田・佐々木 tel:019-629-5283 E-mail:kouhou@pref.iwate.jp



平成 26 年度 「いわて復興人」ポスター

① 株式会社八木澤商店 河野和義さん
(陸前高田市 友情出演:村上弘明氏)



あたらしいニッポンを、ここから創ろう。

震災で大きな被害を受けた陸前高田市。「子供たちや孫たちに誇れる街を創りたい!」「未来の岩手を創りたい!」と、大地を踏みしめ、未来を見つめる。

② 岩手県立種市高校 山本拓実さん
(洋野町)



父のような南部ダイバーになって、復興の役に立ちたい!

自分自身も震災で被害を受けたが「復興の役に立ちたい!」と、親元の宮古市を離れ、洋野町の種市高校に進学。父と同じ南部ダイバーを目指す。

③ 鶺鴒(うのと)り神楽 笹山英幸さん
(普代村)



震災に負けない!俺が岩手の伝統をつなぐ!!

休止に追い込まれた約1,000年続くとされる普代村の鶺鴒神楽「神楽衆になって、伝統をつなぎたい!」と釜石から移住。「この神楽を復興の力にしたい!」と語る瞳は、明日の復興をしっかりと見つめる。

④ 仮設食堂「よってたんせえ」のみなさん
(大槌町)



岩手の仮設食堂 みんなを笑顔にしたい!

震災で何もなくなってしまった大槌町「みんなを笑顔にしたい!」そんな思いで開店した仮設食堂 今日仮設食堂から、皆の笑い声が聞こえてくる。